



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省

Ministry of Health Labour and Welfare

参考資料

# 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 に向けた厚生労働省の取組事項（参考資料）

平成27年9月25日

厚生労働省

## （１）化学テロ対策

### ○医薬品の備蓄

「化学テロリズム対策についての提言」（厚生科学審議会健康危機管理部会、平成26年7月）において、東京大会等大規模国際イベントに備え、解毒剤の備蓄など化学テロについての対応強化の必要性が指摘されたこと等を踏まえ、平成26年度に備蓄を開始。

## （２）生物テロ対策

### ○ワクチンの備蓄

天然痘テロに備え、平成13年度から天然痘ワクチンの備蓄を開始。引き続き追加備蓄を行っていく。



○天然痘対応指針に基づき、平常時・蓋然性上昇時・国内患者発生時の各状況レベルに応じて、生物テロへの必要な対策を行っていく。

# 外国人患者受入環境整備

- 我が国の在留外国人数は約210万人とここ10年間で約10%程度増加。また、訪日外国人旅行者は、年間1,300万人を超えている。こうした中、外国人患者が安心・安全に日本の医療サービスを受けられるよう、**国内の病院において、外国人患者受入のための環境整備が不可欠。**
- 東京オリンピックまでの期間を、体制整備の集中期間とし、地域ごとの拠点となる施設が外国人向けコーディネーターや複数言語の医療通訳を派遣できる体制を整備、医療通訳人材の育成・患者向け説明資料の標準フォーマットの翻訳等に対する支援、院内案内図の外国語表示等院内環境整備の促進を行う。**

## 医療通訳等が配置された拠点病院の整備

- 25年度補正予算事業により、**通訳等の育成カリキュラムの作成**・医療機関における**外国人患者向け説明資料（問診票等）の翻訳**（英、中、ポルトガル、スペイン）を実施
  - 26年度からの予算事業により、**医療通訳・医療コーディネーターが配置された拠点病院は19カ所**  
 （北海道）札幌東徳洲会病院、（千葉県）千葉西総合病院、日本医科大学千葉北総病院、（東京都）都立広尾病院、東京高輪病院、国立国際医療研究センター、聖路加国際病院、がん研有明病院、済生会中央病院、（神奈川県）横浜市立大学附属市民総合医療センター、湘南鎌倉総合病院、横浜中央病院、（長野県）相澤病院、（静岡県）磐田市立病院、（愛知県）藤田保健衛生大学病院、（大阪府）大阪大学医学部附属病院、りんくう総合医療センター、（福岡県）九州大学病院、（鹿児島県）米盛病院
- ※事業費の1/2補助

## 外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）<sup>ジェイミップ</sup>

- 24年7月より、医療機関の申請に基づき日本医療教育財団が**外国人受入体制等について審査・認証**を行う制度を開始。
- 現在、以下の**8医療機関**が認証を受けている。  
 湘南鎌倉総合病院（神奈川）、整形外科米盛病院（鹿児島）、りんくう総合医療センター（大阪）、千葉西総合病院（千葉）、函館新都市病院（北海道）、京都武田病院（京都）、藤田保健衛生大学病院（愛知県）、名古屋共立病院（愛知県）
- 同制度の普及推進のため、厚労省においては、**説明会の開催等を支援**。



## 多様な情報発信の実施

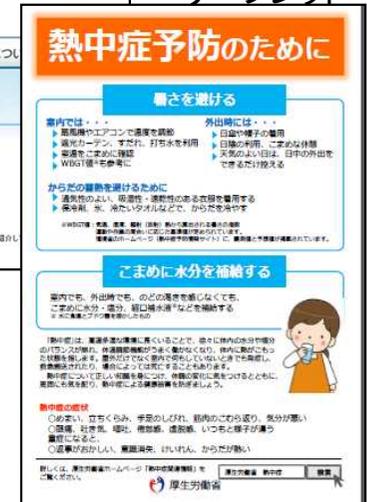
- これまでに、ホームページやリーフレット等を活用し、熱中症対策関連情報を発信。
- 環境省、消防庁、厚労省、気象庁が連携し、オリパラ事務局等関係省庁・機関等の協力を得て、熱中症対策について、発信すべき情報の内容や提供手段等を検討。9月中旬に外国人等向け熱中症等関連情報等のあり方に関するWG(仮称)が立ち上がる予定。
- 検討内容に基づき、関係省庁・機関等が連携して開催までの時期に応じた多言語による情報提供を順次開始。

### 【これまでの取組例】

#### 厚生労働省ホームページ



#### リーフレット



## 病院における外国人受け入れを含めた医療体制等の整備

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会までの期間を体制整備の集中期間とし、地域ごとの拠点となる施設が外国人向けコーディネーターや複数言語の医療通訳を派遣できる体制を整備。

## 大会運営における応急体制の整備

開催地である都県、地元医師会、日本救急医学会等の関係団体と協力し、地元の医療資源や地理的要因を考慮しつつ、必要な救急医療体制を確保。



# 受動喫煙防止の推進

## 概要

本年6月、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣から厚生労働大臣に対して、厚生労働省と内閣官房オリパラ室が協力して、2020年に向けた受動喫煙防止対策に取り組むよう要請。具体的な受動喫煙防止対策の強化策を引き続き検討中。

## 現状

- 世界保健機関(WHO)と国際オリンピック委員会(IOC)が、たばこのないオリンピックを推進。(2010年7月21日ローザンヌ)
- 日本を除くすべての2008年以降のオリンピック開催地又は開催予定地が、罰則を伴う受動喫煙防止対策(法律又は条例)を講じており、日本も対応を求められている。**
- 東京都は、条例制定に向けて検討したが、両論併記の検討会報告書にとどまる。

(2008年以降)オリンピック開催地及び予定地(※) 【参考】国内(条例制定有)

	日本	中国	カナダ	イギリス	ロシア	ブラジル	韓国	神奈川県	兵庫県
オリンピック開催年	2020	2008	2010	2012	2014	2016	2018		
罰則の有無	無	有	有	有	有	有	有	有	有
主な対象施設									
学校、医療機関、官公庁等の公共性の高い施設	(△)	○/△ 注1)	○	○	○	○	○/△ 注3)	△	○/△ 注10)
公共交通機関									
鉄軌道車両・鉄軌道駅	(△)	△/○ 注2)	○	○	○	○	△ 注4)	△	△
バス	(△)	○	○	○	○	○	△注5)	△	△
タクシー	(△)	○	○	○	○	○	-	△	△
事業所(職場)	(△)	△	○	○	○	○	△注6)	-注11)	-注11)
運動施設(屋外)	(△)	○	○	○	○	○	△注7)	△	△
飲食店	(△)	△	○	○	○	○	△	△注12)	△注13)
宿泊施設	(△)	△	△	○注8)	○	○	△	△注14)	△注15)
道路	注9)	-	-	○	-	-	-	-	-

注1) 学校、医療機関は○、官公庁施設は△  
 注2) 車両は△、駅○  
 注3) 高校以上は1000㎡以上のみ○、官公庁施設は△  
 注4) 16人乗以上で有償のもの  
 注5) 子供の輸送用のみ  
 注6) 1000㎡以上のみ  
 注7) 観客収容1000人以上のみ  
 注8) 客室を除く  
 注9) 条例により規定を設けている地域がある  
 注10) 幼稚園、保育園、小中高  
 校、病院・診療所、官公庁は○、  
 大学、専修学校等は△  
 注11) 事務室等の特定の者が利  
 用する空間を適用除外。  
 注12) 100㎡以下は努力義務  
 注13) 100㎡以下は努力義務  
 注14) 700㎡以下は努力義務  
 注15) 100㎡以下は努力義務

(表の見方) (△) 禁煙又は分煙等の努力義務 ○屋内完全禁煙の義務 △屋内分煙の義務 ※オリンピック開催時点での規定に基づく。

- 最近の訪日外国人旅行客の増加傾向から、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に当たって宿泊施設の確保対策が課題



## 宿泊施設の不足解消に向けた取り組み

### ① 国家戦略特区事業（外国人滞在施設経営事業）の活用

- ・国家戦略特区事業推進のため、関係自治体からの要望を踏まえ、テロ対策・感染症防止や近隣住民とのトラブル防止の観点から、滞在者名簿の備え付けや近隣住民の不安を除去するための措置等を盛り込んだ通知を本年7月に発出

### ② 自宅などの活用も含めた対応

- ・年1回（2～3日程度）のイベント開催時であって、宿泊施設の不足が見込まれることにより、開催地の自治体の要請等により自宅を提供するような公共性の高いものについては、「業」ではなく旅館業法が適用されない旨の通知を本年7月に発出
- ・規制改革実施計画（平成27年6月30日閣議決定）に基づき、自宅等を活用した民泊サービスについて、旅館・ホテルとの競争条件を含め、幅広い観点から関係省庁等と連携して検討

- 2020年度に向け、感染症に関する情報収集体制の強化、風しんの抗体保有人口の増加、結核患者に対する服薬支援体制の充実、デング熱等の蚊媒介感染症対策等を推進する。
- 海外における感染症の状況把握や関係機関への周知を行う。

## 情報収集体制の強化

感染症の患者や動物から検体を採取し、検査を実施、国への報告を制度化。

(H28年4月改正法施行)



病原体の遺伝子情報、薬剤耐性等の情報の収集・解析による迅速な危機管理体制の整備

## 風しん対策

- ・ 定期予防接種の実施
- ・ 成人に対する抗体検査・予防接種の推奨
- ・ 自治体に対する技術支援
- ・ 麻しん・風しん対策推進会議の開催



早期に先天性風しん症候群の発生をなくし2020年度までに風しんの排除を達成。

## 蚊媒介感染症対策

- ・ 蚊媒介感染症に関する指針策定
- ・ 自治体へ対応手引き配布
- ・ 医療機関へ対応ガイドライン配布
- ・ 診断薬の研究開発の促進



デング熱等の蚊媒介感染症に対する予防・まん延対策の徹底

## 結核患者への服薬支援体制の充実

保健所に加え医療機関等による服薬支援を強化し、これまでよりさらに患者のニーズに合った服薬支援体制を整備。



2020年までに低まん延国化(罹患率10.0以下)を目指す。



# 検疫体制・食中毒対策

## 検疫体制

エボラ出血熱、中東呼吸器症候群（MERS）、鳥インフルエンザ等の諸外国の感染症の発生動向を踏まえつつ、訪日外国人旅行者の増加に対応し、必要な検疫体制を確保する。

### 検疫所定員の状況

出入国者に対して、海外での感染症の流行状況や対応について、注意喚起を実施するとともに、入国者に対しては、サーモグラフィーによる体温測定を行い、必要に応じ、問診、検査等を実施するなど、水際対策を行っている。



(検疫所定員の状況)

年度	25年度	26年度	27年度
年度末定員	910人	943人(※1)	966人(※2)

※1: エボラ出血熱対応のための緊急増員30人を含む。

※2: 訪日外国人旅行者急増等の対応のための緊急増員21人を含む。

### 訪日外国人旅行者の状況

- ・平成25年: 1,036万人 → 平成26年: 1,341万人
- ・平成27年(8月まで) 1,287万人(対前年49%増)

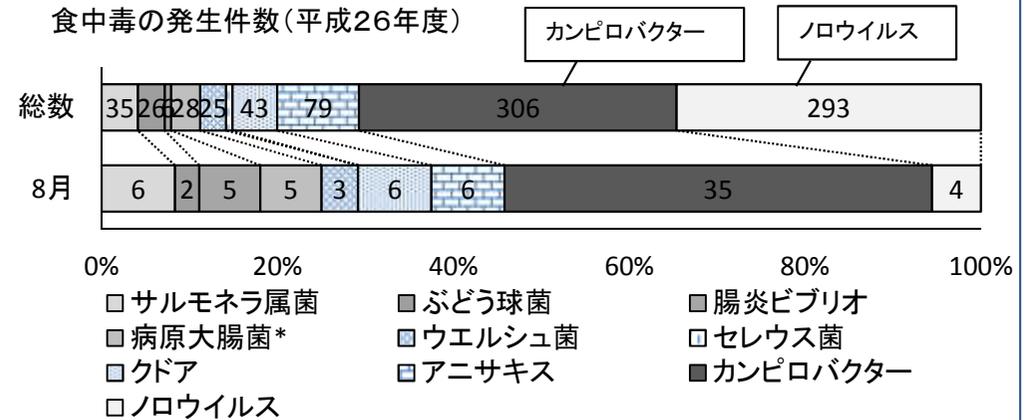
## 食中毒対策

東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、関係自治体等と連携・協力し、夏期の食中毒対策を強化する。

### 食中毒の発生状況

カンピロバクターとノロウイルスが食中毒事件数の約6割を占めているが、夏期はカンピロバクターの割合が大きい。

食中毒の発生件数(平成26年度)



### 夏期の食中毒対策

- 食中毒予防の監視指導について、夏期一斉取締り(7月)を実施
- 食品衛生月間(8月)を定め、食中毒予防のための啓発を実施
- カンピロバクター対策の強化、HACCPの推進

## 外国より密輸される麻薬、危険ドラッグ等について(水際対策)

- 来日観光客や大会前後の物流の増加に乗じて国内外の薬物犯罪組織が薬物の密輸を活発化させるおそれがあることから、地方厚生(支)局麻薬取締部において、外国関係機関との連携を密にして薬物密輸入情報の収集を強化する。
- 必要に応じ麻薬取締官を首都圏に集め、税関等の関係機関と協力し薬物密輸事犯への対応力を強化する。

## 疾病治療のために携帯輸出入される麻薬について(正規輸出入手続き)

- 自己の疾病治療の目的(がんの疼痛緩和等)であれば、事前に地方厚生(支)局長の許可を得て、医療用麻薬を自ら携帯して輸出入することが可能。(麻薬の郵送は不可)  
※麻薬及び向精神薬取締法第13条第1項、第17条、同法施行規則第6条の2、第55条第8号、第9号
- 麻薬の携帯輸出入許可手続きについて関係機関等を通じて海外に事前に周知すると共に、許可事務を担当する地方厚生(支)局麻薬取締部の担当者を一時的に補充し対応を強化する。

# アクセシビリティの確保（補助犬）

## もっと知って「ほじょ犬（身体障害者補助犬）」

「ほじょ犬（身体障害者補助犬）」は、目や耳や手足に障害のある方の生活をお手伝いする、「盲導犬」・「聴導犬」・「介助犬」のことで、身体障害者補助犬法に基づき認定された犬で、特別な訓練を受けています。障害のある方のパートナーであり、ペットではありません。

きちんと訓練され管理も行われているので、社会のマナーも守れますし、清潔です。だからこそ、人が立ち入ることのできるさまざまな場所に同伴できます。

ほじょ犬は身体に障害のある方の自立と社会参加に欠かせません。ほじょ犬のことをもっと知って、ほじょ犬ユーザーとほじょ犬を社会の仲間として受け入れてください。

## ほじょ犬の種類



### 盲導犬

目の見えない人、見えにくい人が街なかを安全に歩けるようにサポートします。障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角を教えたりします。ハーネス（胴輪）をつけています。

### 聴導犬

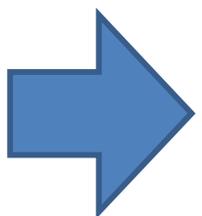
音が聞こえない、聞こえにくい人に、生活の中の必要な音を知らせます。玄関のチャイム音・FAX着信音・赤ちゃんの泣き声などを聞き分けて教えます。「聴導犬」と書かれた表示をつけています。



### 介助犬

手や足に障害のある人の日常生活動作をサポートします。物を拾って渡したり、指示したものを持ってきたり、着脱衣の介助などを行います。「介助犬」と書かれた表示をつけています。

（『ほじょ犬もっと知ってBOOK』より抜粋）



- 現在使用しているリーフレット等の英語版を作成。（平成27年6月に厚生労働省HP掲載済み）
- 海外からの補助犬ユーザーの円滑な受け入れを検討。





## 【概要】

○大会関係施設やアクセス経路等について、大会に向けたハード・ソフト両面でのバリアフリー化を図るため、大会組織委員会、東京都、国が主催する「アクセシビリティ協議会」を平成26年11月に設置し、今後、関係自治体や障害者団体等の参画も得て「アクセシビリティ・ガイドライン」を取りまとめる予定。

## アクセシビリティ協議会の目的

ガイドライン  
の策定・承認

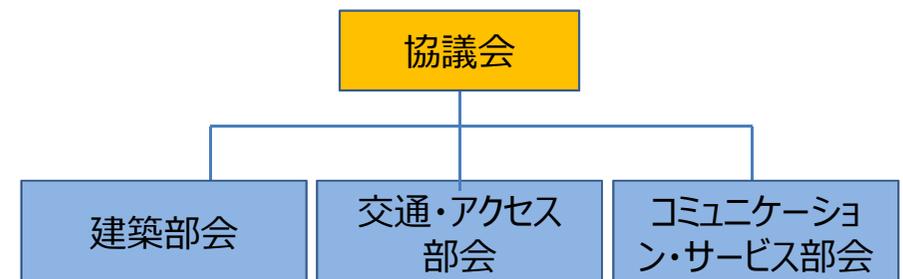
大会に向けたハード・ソフト両面の整備及び運営に活用することを目的とした「アクセシビリティガイドライン」を策定する。（ガイドラインは国際パラリンピック委員会による承認が必要）

ガイドライン  
の周知・反映

大会会場等の設備設計や、情報発信・観客誘導等の大会運営に当該ガイドラインを反映させるべく周知を徹底する。また、公共交通を含めたアクセス経路におけるバリアフリー化や、幅広い関係者による心のバリアフリーに向けて働きかけを行う。

## アクセシビリティ協議会の概要

- ・**主催**：内閣官房オリパラ室、東京都、組織委員会（事務局）
- ・**構成メンバー**：組織委員会、国、関係自治体、障害者団体、障害者スポーツ団体、その他関係団体
- ・**部会**：協議会の下に、部会を設置し、具体的な検討を行う。（障害者団体を含む当事者団体と意見交換を重ね、その意見も踏まえてガイドラインを策定）



## 国立障害者リハビリテーションセンターにおける障害特性に応じた運動等の支援について

### 1 メディカルチェック

障害者スポーツに取り組む方々が、良い身体状態を身につけることを、医科学技術を駆使してサポートすることにより、安全で、かつ効率よく、練習・競技を実施することを支援する。

#### 支援内容

- 検査…アスリートチェック（血液検査など）、運動負荷試験（全身持久力、耐乳酸性能力など）、スポーツ用具検査、栄養調査など
- コンディショニング・プログラムの提案…車いすマラソン選手のコンディショニング、ウイルチェアラグビー選手の体力回復、車いすバスケットボール選手の減量プログラムなど
- 用具の調整…車いすバスケット、スレッジホッケー、車いす陸上競技（シーティング）、ゴールボール（プロテクターの開発）

### 2 健康増進・疾病管理および予防

健康づくり、運動習慣の獲得のための支援を行うとともに、外来において生涯活動に医科学支援が必要な方への支援を実施

#### 入院、外来での支援内容

- 糖尿病患者への支援…教育入院、運動習慣獲得の支援
- 基礎体力獲得の支援…筋力トレーニング、トレッドミル、ストレッチなど
- レクリエーション種目…卓球、スポーツ吹き矢、ボッチャなど

#### 健康増進・スポーツ外来での支援内容

- 基礎体力獲得の支援…筋力トレーニング、トレッドミル、ストレッチなど
- レクリエーション種目…卓球、スポーツ吹き矢、ボッチャなど
- 生涯活動への医科学支援…メディカルチェックなど

### 3 病院におけるリハビリテーション等

日常生活に必要な総合的体力の獲得のための訓練を実施し、体力や他訓練の進捗に応じて運動種目を取り入れることにより、社会参加の心理的変化を促すとともに、障害者の健康作りを支援する専門職を対象とした研修会を実施

#### 支援内容

- 体力の維持・向上…筋力トレーニング、立位歩行様運動など
- 移動能力の向上…車いす、立位での段差昇降、不整地歩行・走行など
- 運動種目…車いすバスケットボール、電動車いすサッカー、ツインバスケットボール、アンプティーサッカー、車いすマラソン、など
- 障害者の健康作りに関する研修会の実施…「障害者ヘルスプロモーション事業に関する研修会」

## 厚生労働省における障害者の芸術文化活動を支援するための取組（平成27年度）

- 1 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた障害者の芸術文化振興に関する懇談会」の開催  
（文化庁と共同開催：議員連盟からの要請により平成27年6月30日からスタート）

### 2 全国障害者芸術・文化祭の開催

〔事業内容等〕 ・ 平成13年度から、障害者芸術・文化祭として、全ての障害者の芸術及び文化活動への参加を通じて、障害者の生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的として実施。

〔平成27年度予算及び実施県〕 29,160千円、鹿児島県（11月27日（金）～29日（日）予定）

### 3 障害者の芸術活動支援拠点モデル事業の実施

- 〔事業内容等〕 ・ 障害者の芸術活動支援拠点に関するモデル事業を実施する。
- ・ 障害者の芸術活動の支援の在り方等について、次に掲げる事業のノウハウを蓄積し、その成果をもとに更なる芸術活動の推進を図る。
    - ① 障害者及びその家族、福祉事業所等で障害者の芸術活動を支援する者への支援（出展機会、著作権等の権利保護等に関する相談支援、支援者の人材育成等）
    - ② 障害者の優れた芸術作品の展示等の推進、関係者のネットワーク構築

〔平成27年度予算〕 約1億円（実施主体：社会福祉法人、NPO法人、美術館等）

## 2020年の文化プログラムに向けて ～史上最大規模の「文化プログラム」の実現～

<考え方> 以下のような目標の下に、文化プログラムに向けた支援等を進める。

[2020年までの目標]

✓ **魅力ある文化プログラムを全国津々浦々で展開**

（国内外の人々を魅了する【例：外国人が、再来日したくなる】プログラムへ2020年に向け**ブラッシュアップ**）

→ そのための**[重点施策]**は、以下のとおり。（組織委員会、観光庁、外務省等の関係省庁と連携）

- 重点施策① 文化プログラムの**育成**
- 重点施策② 文化プログラムに向けた**環境整備**
- 重点施策③ 文化プログラムに向けた**発信強化**



[2030年までの目標]

✓ **真の『文化芸術立国』実現へ**

（2020年を越えて、2030年には真の『文化芸術立国』を実現するとともに、さらに日本の文化を求めて来日する外国人を増加させる。）

<スケジュール（イメージ）>

2015年

文化プログラムに向けた  
準備・**プレイベント**

2016年

リオ大会

ムワス  
ールド・  
（仮称）  
ポーツ・  
ド・フオー  
ーラ・  
文化・

文化プログラム

2020年

東京大会

2030年

日本の文化を求めて  
訪日する外国人が  
年々増加

真の  
『文化芸術立国』  
実現へ

[現状例]

国内外での知名度  
がない、日本語のみ  
で実施

3つの重点施策  
（上記）で洗練化

[洗練された取組例]

多言語での海外発信や  
舞台解説等、誰でも参加  
体験できるイベント



# 建設分野における人材確保

大会の関連施設整備等による一時的な建設需要の増大に対応するため、まずは、ハローワークにおけるマッチング強化、魅力ある職場づくりの推進、職業訓練の充実等により、国内での人材確保に最大限努めることが重要。

➡ 大会開催を見据え、建設分野における人材確保に係る施策の実施、充実・強化に取り組んでいく。

## ハローワークにおけるマッチング強化

### ○建設人材確保プロジェクトの推進

建設労働者が不足している地域の主要ハローワークにおいて、建設関係職種の未充足求人へのフォローアップの徹底等の取組を推進。今後は大会開催に向けて更なる人材需要が見込まれるため、28年度においては、求職者へ建設業の魅力を中心に伝えられるよう、職場見学会を積極的に実施する。

## 魅力ある職場づくりの推進

### ○建設労働者確保育成助成金による支援

建設労働者の雇用の改善、技能の向上を行う中小建設事業主等を支援。28年度は、登録基幹技能者の処遇向上や、女性専用作業員施設の整備等に対する助成を追加予定。

## 厚生労働省

## 職業訓練の充実等

### ○建設分野における職業訓練の充実

建設分野における公共職業訓練、認定職業訓練制度等の充実や、業界団体等と連携した人材育成事業（建設労働者緊急育成支援事業）を実施。

連携して取組を推進

## 国土交通省

適切な賃金水準の確保等、社会保険等未加入対策の更なる強化、現場の生産性の向上や重層下請構造の改善等

このように、国内での人材確保に最大限努めることを基本としつつ、当面の一時的な建設需要の増大への緊急かつ時限的措置（2020年度で終了）として、即戦力となり得る外国人材の活用促進を図り、大会の成功に万全を期しているところ。

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、競技施設の建設や、首都圏を中心としたインフラ整備、再開発等の建設投資が増大
- 人手不足により、現場の作業に習熟した労働者、現場管理者の不足も懸念される中、更なる安全管理の徹底が必要

(平成28年度概算要求)

## 大会関連工事における労働災害防止対策を関係省庁等と連携して推進

人の対策

### 新規入職者への安全教育

- 建設業に初めて就く方等を対象にした安全衛生教育
- 外国人建設就労者を対象にした安全衛生教育

現場

### 工事現場への技術指導

- 安全を熟知した専門家が工事現場を巡回し、安全な作業方法等を助言・指導

### ハーネス型安全帯の普及

- 万一の墜落時に身体への衝撃が少ないハーネス型安全帯の普及促進



ハーネス型

胸ベルト式

人にやさしい  
保護具

※ 関係省庁等や建設業団体との協議組織を立ち上げるべく、現在調整中